

施策分析シート（令和6年度）

No1

施策名	快適な生活道路の整備	施策No	08-03	部課名	防災都市づくり部土木管理課	課長名	諸角	内線	2710
関連部課名	防災都市づくり部基盤整備課、建築指導課								
行政評価事業体系	分野	IV	環境先進都市						
	政策	08	良好で快適な生活環境の形成						

目的 区民に最も身近な都市施設である道路を誰もが安全に、かつ、安心して快適に利用できるよう、適正に維持管理を行うとともに、拡幅・改修等を行う。

幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
	3年度	4年度	5年度			
① 周辺環境の快適さ	3. 10	3. 13	3. 08	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？		
② 防災性	2. 32	2. 29	2. 35	お住まいの地域は災害に強いと感じますか？		
③ 安全・安心の実感	2. 76	2. 74	2. 75	お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？		
④						
施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
	3年度	4年度	5年度	6年度 見込み	目標値 (8年度)	
① 陳情件数(件)	911	1, 011	977	900	860	平成18年度件数(2, 129件)の縮減 (道路・街路灯等)
② 細街路後退用地整備率(%)	47	48	49	50	52	整備延長／整備対象道路延長両側 (自主整備含む)
③						
④						
⑤						

(単位：千円)

行政コスト計算書					行政収入				
勘定科目		4年度	5年度	差額	勘定科目		4年度	5年度	差額
行政費用	給与関係費	153,986	188,930	34,944	地方税等	0	0	0	
	物件費	229,212	214,175	▲ 15,037	国庫支出金	8,375	9,626	1,251	
	維持補修費	297,694	315,801	18,107	都支支出金	6,963	6,659	▲ 304	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	25,134	29,523	4,389	使用料及び手数料	884,446	883,461	▲ 985	
	減価償却費	144,269	145,655	1,386	その他	94,528	110,092	15,564	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	994,312	1,009,838	15,526	
	賞与・退職給与引当金繰入額	8,734	31,540	22,806	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 109,427	▲ 331,786	▲ 222,359	
	その他行政費用	244,710	416,000	171,290	金融収支差額(d)	▲ 753	▲ 686	67	
	行政費用合計(b)	1,103,739	1,341,624	237,885	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 110,180	▲ 332,472	▲ 222,292	
特別費用(g)	2,538	396	▲ 2,142	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 2,538	▲ 396	2,142	当期収支差額(e)+(h)	▲ 112,718	▲ 332,868	▲ 220,150		

貸借対照表					貸借対照表				
勘定科目		4年度	5年度	差額	勘定科目		4年度	5年度	差額
流動資産	収入未済	457	2	▲ 455	流動負債	13,679	17,180	3,501	
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	6,395	6,454	59	
固定資産	有形固定資産	191,027,537	191,395,630	368,093	賞与引当金	7,284	10,726	3,442	
	土地	176,866,379	177,032,526	166,147	その他の流動負債	0	0	0	
	建物	0	0	0	固定負債	169,070	190,934	21,864	
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	70,103	63,649	▲ 6,454	
	工作物等	17,150,947	17,498,547	347,600	退職給与引当金	98,967	127,285	28,318	
	工作物等減価償却累計額	▲ 2,989,789	▲ 3,135,443	▲ 145,654	その他の固定負債	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	182,749	208,114	25,365	
	建設仮勘定	136,530	157,886	21,356	正味財産	190,982,987	191,346,616	363,629	
	その他の固定資産	1,212	1,212	0	正味財産の部合計	190,982,987	191,346,616	363,629	
	資産の部合計	191,165,736	191,554,730	388,994	負債及び正味財産の部合計	191,165,736	191,554,730	388,994	

財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用の物件費は、街路樹やグリーンベルトの管理、道路清掃等に係る費用であり、令和5年度は道路ストックに係る委託を実施しなかったこと等により減少している。
- 行政費用の維持補修費は、主に道路改修費や道路応急工事費である。
- 行政費用のその他行政費用は、主に私道における細街路拡幅工事や補修工事等である。
- 行政収入の使用料及び手数料は、主に電柱等の道路占用料である。その他は、占用工事道路復旧費である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○令和元年度の道路ストック総点検の中で、路面性状調査（ひび割れ、わだち掘れ、凸凹確認等）を実施し、アスファルト舗装の健全度を確認した。 ○令和4年度に路面下空洞調査を実施し、発見した空洞箇所については、占用企業者と連携し、順次補修を行っている。 ○紅葉坂跨線人道橋については、令和2年度と3年度にエレベーター及びエスカレーターの設置に向けた調査、検討を行った結果、道路線形の大幅な見直しが必要なこと、地下埋設物が支障となることなど、多くの課題が判明した。 ○下御隠殿坂跨線道路橋と第二日暮里跨線橋については、5年に1度の法定点検において、予防保全を講ずる段階との判定が出ており、機能維持のために対策を講じていく必要がある。 ○バリアフリー基本構想及び重点整備地区の基本構想等に基づき、道路のバリアフリー化に取り組んでいる。
課題	○道路ストック総点検の結果、ひび割れやわだち掘れなどにより危険度の高い箇所については既に改修が完了しているが、道路を良好な状態に維持するため、引き続き、不良箇所の早期発見に努めていく必要がある。 ○路面下で発生している空洞が原因となり、道路陥没が発生することで、重大な事故に繋がる可能性があるほか、災害時には避難路としての機能や災害救援活動への影響が懸念されることから、路面下空洞調査により得られたデータに基づき、空洞が疑われる箇所の改修を進める必要がある。 ○紅葉坂跨線人道橋へのエレベーター及びエスカレーターの設置は、莫大な経費が掛かるほか、地下埋設物の大規模な移設工事が必要となるなどの課題がある。また、駅前広場も含めた規模で道路線形を見直す必要もある。 ○鉄道の営業線を跨ぐ跨線橋の補修工事は、莫大な経費と工事期間が必要となることから、鉄道事業者と十分に協議を行い、計画的に補修を実施していく必要がある。 ○バリアフリー化が完了していない箇所や安全な通行に支障がある路線等については、計画的に改修を進めていく必要がある。
今後の方向性	○道路ストック総点検については基本的に、5年毎に実施し、損傷状況に応じて優先順位を付け、補修を行っていく。なお、令和6年度は、点検を実施する予定である。 ○路面下空洞調査については、舗装点検要領（国土交通省道路局）が定める点検頻度にしたがって、5年に1度実施し、道路の安全性を確保する。 ○紅葉坂跨線人道橋へのエレベーターとエスカレーターの設置については、財源の確保に向けた調査のほか、占用物の移設方法の検討を進める。また、第六建設事務所、道路占用企業者、鉄道事業者との協議も引き続き進める。 ○第二日暮里跨線道路橋、下御隠殿橋の補修・補強に向けて検討を進める。 ○バリアフリーに対応した歩行空間を整備するため、段差解消や歩道のセミフラット化などを無電柱化に併せて進めていく。また、街路樹の根上がりにより危険な箇所については、計画的に改修を行っていく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
6年度	7年度	
推進	推進	環境に配慮した道路の整備、バリアフリーに対応した道路施設の整備を進めるとともに、適切な維持管理を行っていく。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		4年度	5年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
道路占用等事務	11-03-01	11,510	22,408	977	813	継続	継続	道路及び公園を適正な状態で管理する上で必要な事業であるため、継続して実施する。
道路管理システム運営	11-03-03	5,243	7,506	2,610	2,642	継続	継続	道路管理事務や占用企業者の申請処理業務など、事務の効率化に必要な事業であるため、継続して実施する。
占用工事道路復旧事業	11-03-04	69,491	56,669	49,303	38,956	推進	推進	占用工事に伴う工事調整や復旧整備は、道路の良好な維持管理に不可欠な事業であるため、推進する。
道路管理事務	11-03-05	77,111	88,359	34,570	36,318	推進	推進	道路を適正に管理するために必要な事業であり、推進する。
道路ストック総点検事業	11-04-03	46,380	27,920	41,610	24,515	推進	推進	定期的に点検を実施することにより、道路利用者及び第三者への被害防止のための事業であるため、推進する。
道路清掃事業	11-04-04	64,614	67,347	54,341	57,339	継続	継続	道路を安全で快適な状態に維持する事業であるため、継続して実施する。
道路維持事業	11-04-05	237,301	254,401	82,234	95,301	継続	継続	道路の機能を常に良好な状態に維持する事業であるため、継続して実施する。
道路損傷復旧事業	11-04-06	4,770	2,432	0	0	継続	継続	道路附属物等の損傷に対応する手段の一つとして必要な事業であるため、継続して実施する。
道路応急工事事業	11-04-07	91,745	90,596	83,961	82,431	継続	継続	道路を常に良好な状態に保つため、緊急に対応する工事は不可欠な事業であるため、継続して実施する。
街路樹等管理事業	11-04-09	76,732	88,573	70,411	79,853	推進	推進	都市景観の形成や環境問題、更には災害時の減災の観点から、街路樹等を適正に維持管理する事業であるため、推進する。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のた めの分類		分類についての説明・意見等
		4年度	5年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
道路改修事業	11-04-10	127,235	243,151	242,315	340,270	継続	継続	安全かつ安心して通行できる道路となるよう計画的な改修が必要な事業であるため、継続して実施する。
紅葉坂跨線人道橋整備事業	11-04-14	0	1,746	—	—	重点的に推進	重点的に推進	当該跨線人道橋はＪＲや京成の線路を跨いでおり、健全な状態を維持していくことが必要な事業であるため、重点的に推進する。
私道整備事業	11-04-19	27,763	47,554	24,252	42,204	継続	継続	公道を補完する機能を有する私道についても、公道に準じた整備を行う必要がある事業であるため、継続して実施する。
細街路拡幅整備事業（工事）	11-04-20	220,795	285,825	434,582	491,092	重点的に推進	重点的に推進	防災性の向上や居住環境の改善を図る上で、細街路の拡幅は重要な事業であるため、重点的に推進する。
細街路拡幅整備事業（助成）	11-05-01	43,050	57,137	24,851	28,179	重点的に推進	重点的に推進	密集地域の防災性の向上及び住環境改善を図る事業であるため、重点的に推進する。
合 計		1,103,740	1,341,624	1,146,017	1,319,913			